

# 令和4年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

県立新庄南高等学校

目指す生徒像	明らかで、清潔感にあふれ、真心をもって人や物事に対し、自ら進んで新しい物事に取り組む生徒
--------	--

重点目標	1 自ら調べ、考える力の育成	達成度	A	達成できた
	2 自ら志を高め、志望を実現する力の育成		B	ほぼ達成できた
	3 自ら判断し、行動できる力の育成		C	あまり達成できなかった
	4 魅力ある開かれた学校づくりの推進		D	達成できなかった

A:十分評価できる	[A=3.5以上]
B:まずまず評価できる	[B=3.0以上]
C:一部見直しが必要である	[C=2.5以上]
D:根本的な見直しが必要である	[D=2.5未満]

自己評価					学校関係者評価			
番号	評価項目	具体的方策	評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	学習指導	(1)ICTを活用した情報活用能力の育成、個別最適な学び、協働的な学びを推進(教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B	探究力の育成に関する職員研修会により、教員個々の取組を全体で共有する。研究授業推進月間において探究力の推進を共通テーマとして設定する。引き続き、生徒用パソコンやGoogleClassroomを活用した授業を推進。 今年度実施した、新学習指導要領に基づく評価法について、引き続き研修と改善を行う。 総合的な探究の時間を効果的に運用し、生徒が自ら調べ、探究する力を育成する。	B	ICTの活用と探究力育成のための授業の推進を柱にしつつ、家庭学習もバランスよく重視して指導してほしい。 ・学んだことを発表する(アウトプットする)力を育成する指導を、重視してほしい。 ・積極的に地域と関わって学ぶ姿が多く見られ、大変好ましいと感じた。一部の生徒の活動でなく、全体的な動きとなってきていると感じた。
		(2)探究力を育成する授業の推進(教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	2.8	C			
		(3)学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた実践と評価の推進(教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	2.9	C			
		(4)特色ある学びを生み出す教育課程の運用(教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B			
2	進路指導	(1)社会参画意識を高める学習と活動の充実(進路課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B	総合的な探究の時間やLHRを活用した進路学習、外部講師や大学等の機関の講師による研修会などを行う。 学年担任団と進路指導担当との一層の連携強化を図り、進路指導体制を確立する。 進路研究(大学入試に関するセミナー、研修会等)への教員の積極的参加。	B	・大学や企業が求める資質・能力を把握することは非常に重要と考える。教員の指導力向上と合わせ、重視して取り組んでほしい。 ・地元の大学や、地域社会との関わり合いを早い段階から実施し、将来の自分の姿を考えるきっかけを増やしていくことが重要である。 ・外部講師や大学教員等の力を取り入れた学習は大変大事なことと思う。
		(2)自己理解の促進とキャリア形成の支援の充実(進路課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B			
		(3)個に応じた進路希望の実現に向けた組織的支援体制の充実。(進路課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B			
		(4)大学等や企業が求める資質・能力の把握とその対応の充実(進路課)	4段階自己評価の平均3.0以上	2.8	C			
3	生徒指導	(1)生徒の主體的で澁澁とした学校生活の支援(生徒保健課、各課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B	教員が生徒と向き合うための時間を確保するための校務の精選、効率化を図る。 地区内外の他校生徒会と、学校祭での相互交流、WEBでの情報交換等により、活動を活性化する。 情報モラルに係る啓蒙を推進し、新庄警察署等との連携による講座などを引き続き行う。 保健委員会による清掃点検など衛生環境整備を引き続き行い、感染症対策と学習活動を両立する。	B	・生徒の教師への信頼と良好な人間関係づくりなど、生徒会や地域活動を通じてさらに深めていってほしい。 ・現在行われている、「新聞活用講座」など、情報リテラシーを高めるための教育活動を今後も継続してほしい。 ・他校の生徒会との交流活動などを、今後も継続していってほしい。
		(2)自らの成長を実感できる部活動と自治の精神を育む生徒会活動の充実(生徒保健課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B			
		(3)個人の尊厳を重視した「いじめ防止」や情報モラル教育等の推進(生徒保健課、教務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B			
		(4)「新しい生活様式」を踏まえた、安全かつ安心な学びの環境の整備(生徒保健課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.2	B			
4	魅力・活力あふれ開かれた学校づくり	(1)地域や教育機関との連携と多様な体験・交流活動の推進(各学年・教務課・総務課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.0	B	大学生メンターを活用した総合的な探究の時間の運営。地域の教育資源の活用。 「さくら連絡網」の活用と、学校HPによる情報発信。生徒会等の生徒主体の情報発信推進。 新庄北高校との各教科教員間の連携、生徒会の交流活動の推進など。 生徒完全下校時刻の徹底、職員の業務精選、ICTを活用した効果的な指導の研究推進。	B	・学校近郊の社会教育施設等(ふるさと歴史センター、最上公園、雪の里情報館、図書館など)をおおいに活用した学習を期待します。 ・教職員の働き方改革に引き続き、取り組んでほしい。 ・学校の統合に向け、新庄北高校との生徒会の交流を深めることとともに、同窓会の資料館を見学するなど、学校の歴史にも触れてほしい。
		(2)多様な情報ツールの活用による「伝わり、届く」情報発信の推進(各課)	4段階自己評価の平均3.0以上	3.1	B			
		(3)高校再編整備を見通した特色ある学校づくりとキャンパス制の推進(各課)	4段階自己評価の平均3.0以上	2.8	C			
		(4)教職員の働き方改革の推進	4段階自己評価の平均3.0以上	2.5	C			

学校関係者評価基準	A:十分評価できる B:まずまず評価できる C:一部見直しが必要である D:根本的な見直しが必要である ①評価指標(自己評価の平均3.0)及び評価基準(A=3.5以上、B=3.0以上、C=2.5以上、D=2.5未満)
-----------	---

学校関係者評価を踏まえた改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導に関しては、家庭学習等の学習習慣やICTの活用、探究学習も含む学習全体での生徒のメタ認知支援など、習得と探究のバランスがとれ、有機的に関わらせることを改善の方向性とする。</li> <li>○進路指導に関しては、生徒が自ら志を高めることができるキャリア形成環境づくりを改善の方向性とする。そのために、探究学習における大学との連携や情報活用力の育成を目指したICTの活用、地域の人々との交流や施設の活用が有効である。</li> <li>○生徒指導に関しては、コロナ禍や新高校への統合を踏まえ新庄北高校や他校、地域との交流など、活性化した交流を改善の方向性とする。</li> <li>○学校経営として働き方改革は不可欠であり、県教育委員会と連携した組織対応が喫緊の課題である。</li> </ul>
------------------	---